

耐空性改善通報(TCD)に基づく点検期限の超過について

スカイネットアジア航空株式会社(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:伊東 正孝)は、本日、国土交通省より文書による嚴重注意を受けましたのでご報告申し上げます。

当社が運航しているボーイング 737-400 型機 9 機のうち 3 機が、耐空性改善通報(TCD)にて要求されている、発電機制御装置、高揚力装置の警報装置及びフラップの駆動機構について、繰り返し点検の期限を超えて運航していたことによるものです。

当社では、超過が判明した時点で、直ちに当該機 3 機について運航を停止した上で、23 日(火)中に点検を実施・完了し、安全上の問題がないことを確認しております。

皆様には多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。

安全は経営方針の最重要課題であり航空輸送の原点であることを改めて肝に銘じ、再発防止と信頼回復に努めてまいります。

以上